

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	卒業研究・卒業設計
科目基礎情報					
科目番号	0099		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 12	
開設学科	建設システム工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	前期:10 後期:10	
教科書/教材	なし				
担当教員	四蔵 茂雄,加登 文学,玉田 和也,毛利 聡,岩木 真穂,中尾 尚史				
到達目標					
1 研究/設計課題に関連する文献や資料を調査できる。 2 研究/設計内容について指導教員とディスカッションができる。 3 研究/設計計画を立て実行できる。 4 得られた結果を分析考察できる。 5 得られた成果を論文として適切にまとめることができる。 6 得られた成果を公開の場で発表できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	研究/設計課題に関連する文献や資料を十分に調査できる。	研究/設計課題に関連する文献や資料を調査できる。	研究/設計課題に関連する文献や資料を調査できない。		
評価項目2	研究/設計内容について指導教員と十分にディスカッションができる。	研究/設計内容について指導教員とディスカッションができる。	研究/設計内容について指導教員とディスカッションができない。		
評価項目3	十分に研究/設計計画を立て実行できる。	研究/設計計画を立て実行できる。	研究/設計計画を立て実行できない。		
評価項目4	得られた結果を十分に分析考察できる。	得られた結果を分析考察できる。	得られた結果を分析考察できない。		
評価項目5	得られた成果を論文として適切にまとめることが十分できる。	得られた成果を論文として適切にまとめることができる。	得られた成果を論文として適切にまとめることができない。		
評価項目6	得られた成果を公開の場で十分に発表できる。	得られた成果を公開の場で発表できる。	得られた成果を公開の場で発表できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	【授業目的】 卒業研究・卒業設計は、建設システム工学に関する研究課題・設計課題を遂行することを通して、技術者としての基礎的素養を身につけることを目的とする。これまでに学んできた知見に加えて、工学的・技術的発想、研究・設計計画、実験的検証などの方法を駆使して課題を遂行する。 各研究室における地域志向テーマでは、地域の課題解決を目指す。 【Course Objectives】 This subject aims to make basic attainments in the specialized fields of the civil engineering and architecture as the engineer acquired from experience through the research/design theme on understanding the technical conception, research/design plan and experimental corroboration and advancing the state of knowledge in the construction engineering field as an expert of civil and architecture engineer.				
授業の進め方・方法	【授業方法】 第1回目の授業で、オリエンテーションおよび研究/設計課題に関する説明を行う。第2回目の授業で、配属先を決定する。第3回目以降は、各研究室において研究の遂行を行う。 【学習方法】 研究/設計を進める過程において、学生自ら興味と問題意識を持ち、積極的・自主的に課題に取り組むことが必要である。課題に関して指導教員とディスカッションを行い、指導教員と十分にコミュニケーションを取ること。その過程で、方向性、内容を深めていくこと。				
注意点	【定期試験の実施方法】 定期試験は実施しない。 【成績の評価方法・評価基準】 提出された卒業研究/卒業設計論文と発表の内容、質疑応答の内容、取り組みの積極性などを総合的に勘案し、合否を判定する。資料調査、ディスカッション、研究/設計計画の実施、研究/設計結果の分析・考察、成果の発表に関する到達度を評価基準とする。 【履修上の注意】 指導教員の指示に従うこと。 【教員の連絡先】 各指導教員				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	指導教員による。	指導教員による。	
		2週	"	1, 2, 3	
		3週	"	1, 2, 3	
		4週	"	1, 2, 3	
		5週	"	1, 2, 3	

		6週	"	1, 2, 3	
		7週	"	1, 2, 3	
		8週	"	1, 2, 3	
	2ndQ	9週	"	1, 2, 3	
		10週	"	1, 2, 3, 4	
		11週	"	2, 3, 4	
		12週	"	2, 3, 4	
		13週	"	2, 3, 4	
		14週	"	2, 3, 4	
		15週	"	2, 3, 4	
		16週	卒業研究中間発表	6	
	後期	3rdQ	1週	指導教員による。	2, 3, 4
			2週	"	2, 3, 4
			3週	"	2, 3, 4
			4週	"	2, 3, 4
			5週	"	2, 3, 4
6週			"	2, 3, 4	
7週			"	2, 3, 4	
8週			"	2, 3, 4	
4thQ		9週	"	1, 2, 4, 5	
		10週	"	1, 2, 4, 5	
		11週	"	1, 2, 4, 5	
		12週	"	1, 2, 4, 5	
		13週	"	1, 2, 4, 5	
		14週	"	1, 2, 4, 5	
		15週	"	1, 2, 4, 5	
		16週	卒業研究最終発表	6	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	0	80	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	20	0	0	80	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0